



笑顔で中央舞台に見入る参加者



ブルメリア&おむすびのフラダンス



グリーンピースのみなさん



大人たちも一緒に楽しんだ子ども広場 (パネルシアター)



こんなに見えにくくなるんだと高齢者疑似体験



“東日本大震災を〇〇で応援しよう”のとりくみ



ふくしまに生き、明日につなぐ。

ふくしまからの呼びかけ

3月11日の地震と津波で、根拠のない安全神話が崩れました。私たちが危惧していた原発事故が、現実起きてしまいました。

福島第一原発事故は、天災でも想定外でもない「人災」です。利益を優先し安全対策を怠った東京電力と、それを後押ししてきた国がおこした「人災」です。

目を閉じて思い浮かべてください。

ふるさとを奪われ、いつ帰れるかもわからない住民の不安を。わが子のように守り育ててきた土を、豊かな恵みをもたらす海を奪われた怒りを。手塩にかけた作物を食べてもらう喜びを奪われた悲しみを。「ふくしま」と名がついただけで、選けられてしまった悔しさを。一生にたった一度の思い出をつくることすら叶わなかった子どもたちの悲しみを。さよならも言えず、友だちと別れた子どもたちの思いを。子どもの寝顔に「あなたを私は守れるのだろうか」と語りかける朝の菟蓐を。「子どもを守るため」に離ればなれに暮らす家族の疲れを。

いま、ふくしまの人々は立ち上がっています。

私たちは、このふくしまから訴えます。全国に、世界中に訴えます。安心して子どもを生き育て、安心して暮らし、安心して働ける、そんな当たり前の生活を一日も早く取り戻すために。

「放射能被害から子どもたちを守ろう!」「被害・損害の全面賠償を求めよう!」「原発をなくそう!」「3月11日前のふくしまに、国と東京電力の責任で戻せ!」と。

いのちと原発は共存できません。

私に、あなたに、未来につながるいのちに、美しい大地・空・海を引き継ぐために!いま、声をあげましょう!広げましょう!「なくせ原発!」



2011年10月30日
なくせ!原発
安心して住み続けられる福島を!
10・30大集会 in ふくしま



10月30日の集会には、全国から1万人以上がふくしまに集まりました。町ごと避難を余儀なくされた浪江町の町長、飯館村の村長なども参加され、加害者である東京電力と国に対して心の底から怒りを訴えました。また小さな子どもを抱えるお母さん



“フクシマで生きていきたい”とお揃いのベストで参加



子どもたちの「外で遊びたい」の訴えに〇で応える参加者

いのちまもる10・20国民集会に5500人
なくせ!原発10・30大集会 in ふくしまに1万人 (城南3法人からバスで43人が)

腹八分

いま大変な就職難が日本全国をおおっています。非正規雇用は全体の4割近く、とりわけ女性と若者は半数に及んでい

卒業を控えた高校生、大学生の就職内定は最悪。6人で組織するゼミで誰一人就職が決まっていない、こんな状態に驚く者はいません。東北の被災地ではどうか。沿岸部の水産加工業者は、今必死に復興にとりくんでいますが、営業再開は程遠く、多くの労働者ががれきの処理などの短期のアルバイトで、ぎりぎりの生活を維持しているのが実情です。こんな大変な時にソニーは仙台工場の期間社員150人の雇止めを強行しました。ソニーには十分な体力があります。会長の報酬は年間8億6000万円、副会長だつて2億円を超えています。期間社員の年収は約270万円。150人分なら4億5000万円。1%の富裕層が99%の人々をさらに貧困に追いやっているのです。世界的に貧困層の拡大がすすむ中で、新たな動きが生まれてきています。ニューヨークのウォール街では、1%の富裕層に抗議する若者を中心とした集会が連続的に開催され、アメリカ国内はもとより世界各地に広がっていきま

